

Back by Popular Demand: From the Programs of 2013

アンコール特集

2013年度上映作品より



大佛さまと子供たち

N	京	橋
F	映	画
C	小	劇
小ホール	場	
KYOBASHI-ZA		No.28

2014年 5月9日金 - 5月25日日

※金曜日・土曜日・日曜日の上映となります。

東京国立近代美術館フィルムセンター 小ホール(地下1階)

開映後の入場はできません。

定員=151名(各回入替制)

発券=地下1階受付

料金=一般520円/高校・大学生・シニア310円/小・中学生100円/

障害者(付添者は原則1名まで)、キャンパスメンバーズは無料

- ・観覧券は当日・当該回のみ有効です。
- ・発券・開場は開映の30分前から行い、定員に達し次第締切ります。
- ・学生、シニア(65歳以上)、障害者、キャンパスメンバーズの方は、証明できるものをご提示ください。
- ・発券は各回1名につき1枚のみです。

東京国立近代美術館フィルムセンター

National Film Center
The National Museum of Modern Art, Tokyo

小ホール 上映作品

アンコール特集：
2013年度上映作品より
Back by Popular Demand:
From the Programs of 2013

フィルムセンターは《京橋映画小劇場》第28回企画として、昨年度の上映作品の中から、特に多数のお客様にご来場いただいた9プログラム(10作品)を、アンコール上映いたします。皆様のご来場をお待ち申し上げます。

- =監督 ◎=原作・原案 ●=脚本・脚色 ○=撮影
- =美術 ◎=音楽 ⊕=出演
- 特集には不完全なプリントが含まれていることがあります。
- 記載した上映分数は、当日のものと多少異なることがあります。

1 5/9(金)0:30pm 5/17(土)3:00pm

花のれん(129分・35mm・白黒)
▶「特集・逝ける映画人を偲んで2011-2012」より
直木賞を受賞した山崎豊子の同名小説を映画化。吉本興業の創業者、吉本せいモデル。昭和初期の大阪、呉服屋をたたくて寄席の経営に乗り出した河島多加(淡島)は、惚れた男への気持ちを必死に打ち消しながら、仕事一筋に生きて成功する。全篇にわたり淡島千景の堂々たる演技を味わうことができる。
'59(宝塚映画)◎豊田四郎◎山崎豊子◎八住利雄◎安本淳◎伊藤薫◎芥川也寸志◎淡島千景、アチャコ、石浜朗、佐分利信、司葉子、浪花千栄子、乙羽信子、環三千世、飯田蝶子、万代峯子、山茶花究、森繁久彌、酒井光子

2 5/9(金)5:00pm 5/18(日)11:00am

家庭日記(99分・35mm・白黒)
▶「生誕110年 映画監督 清水宏」より
当人気絶頂だった吉屋信子の新聞連載小説を映画化。松竹は長らく独占映画化を旨としてきたが、本作は例外的に東宝製作の前後篇二部作(山本薩夫監督)と競作となった。大船撮影所の第一線スターを配したメロドラマで、「子供の四季」二部作と同時並行で撮影された。小津映画で知られるカメラマン・厚田雄春と清水宏監督は以後、計8作品で組むことになる。
'38(松竹大船)◎清水宏◎吉屋信子◎池田忠雄◎斎藤正夫、厚田雄春◎伊藤宣二◎佐分利信、高杉早苗、上原謙、桑野通子、三宅邦子、三浦光子、トーチカ小僧、大山健二、藤野秀夫、吉川満子、水島亮太郎、坂本武

3 5/10(土)11:00am 5/18(日)1:30pm

大佛さまと子供たち(102分・35mm・白黒)
▶「生誕110年 映画監督 清水宏」より
「蜂の巣映画」三部作の3本目。前2作同様、映画史に類を見ない傑作である。舞台は奈良・東大寺に移り、非公式の観光案内で生計を立てながら、戦地から帰らない父の消息をラジオ放送で探し続ける豊太(岩本)の生きる姿を描く。戦災孤児たちの安らぎの場所として夢想される奈良の大仏さまをはじめ、子どもたちが仏像と交感する姿が胸を打つ。
'52(蜂の巣映画)◎清水宏◎古山三郎◎伊藤宣二◎岩本豊、裕由夫、宮内義治、久保田晋一郎、川西清、中村貞雄、日守由緒子、歌川ユミ、赤堀綾子、島田友三郎

奈良には古き佛たち(36分・35mm・白黒)
▶「生誕110年 映画監督 清水宏」より
文化財の保護を訴えた記録映画で、興福寺や東大寺の仏像・建築の特徴や由来がナレーションによって語られる。階段を腹ばいで滑り落ちる子どものショットやゆるやかな前進移動撮影など、記録映画においても清水らしさは健在。2007年に広島で発見され、プラネット映画資料図書館に寄贈された16mmプリントからの複製。
'53(蜂の巣映画)◎清水宏

4 5/10(土)2:40pm 5/23(金)1:00pm

女優と詩人(72分・35mm・白黒)
▶「よみがえる日本映画 vol. 6[東宝篇]」—映画保存のための特別事業費による。より
成瀬巳喜男は、松竹からP.C.L.に1934年に移籍。翌35年には、自身にとって初めてのトーキーにもなった『乙女ごころ三人姉妹』を皮切りに、次々に監督作を発表。本作は、『乙女ごころ三人姉妹』と同月に公開された移籍第2作目。トーキー初期の作品らしく、音の演出に様々な工夫が見られる。また、女優(千葉)と詩人(宇留木)の夫婦が、夫婦喧嘩の演技の稽古をするという、劇中劇の入れ子構造になっているのも面白い。最後の、エンドクレジットが消える直前にかすかに入る男性の声に注意してほしい。
'35(P.C.L.)◎成瀬巳喜男◎中野實◎永見隆二◎鈴木博◎久保一雄◎伊藤肇◎宇留木浩、千葉早智子、藤原釜足、三遊亭金馬、佐伯秀男、神田千鶴子、戸田春子、三島雅夫、宮野照子、新田洋子

5 5/11(日)11:00am 5/23(金)5:00pm

夜の終り(94分・35mm・白黒)
▶「よみがえる日本映画 vol. 6[東宝篇]」—映画保存のための特別事業費による。より
谷口千吉監督が手掛けた犯罪映画の佳作。恋人(岡田)との結婚を控えた木崎(池部)は、道端で酔いつぶれている男の胸ポケットにあった大金に目がくらみ、もみ合いになったはずみでその男を殺してしまう。木崎は、逃亡の過程で、街の顔役(清水)や売春婦(三益)に助けられるが…。犯罪に手を染めた主人公が、次第に正常な判断力を失っていくが最後には正気を取り戻すさまと、彼が目当たりにする様々な都会の暗部とが共に描き出される。
'53(東宝)◎谷口千吉◎菊島隆三◎山田一夫◎松山崇◎芥川也寸志◎池部良、岡田茉莉子、三益愛子、志村喬、小川虎之助、清水将夫、清水元、藤原釜足、坪内美子、音羽久米子、虹川レイ子、宮崎恭子、菅井さん

6 5/11(日)2:00pm 5/24(土)11:00am

運が良けりゃ(92分・35mm・カラー)
▶「映画監督 山田洋次」より
落語に造詣の深い山田洋次が、「突き落とし」「妾馬」「黄金餅」等に材をとり、ハナ肇が熊さん、犬塚弘が八つあんを演じた騒動喜劇。大船撮影所にオープンセットを組み、当時の山田作品では最も「金と時間がかかっている」作品となった。死体を弄ぶ「らくだ」を映像化した過激なユーモアは初期山田作品の特徴である。
'66(松竹大船)◎山田洋次◎山内久◎高羽哲夫◎佐藤公信◎山本直純◎ハナ肇、倍賞千恵子、犬塚弘、藤田まこと、桜井センリ、安田伸、田辺靖雄、砂塚秀夫、武智豊子、田武三、野々村潔、穂積隆信、江幡高志、富永美沙子、阿部寿美子、飯田蝶子、松本染升、左ト全、金原亭馬の助、花沢徳衛、瀧美清

7 5/16(金)1:00pm 5/24(土)2:00pm

むすめ(77分・35mm・白黒)
▶「よみがえる日本映画 vol. 7[松竹篇]」—映画保存のための特別事業費による。より
大庭秀雄監督の戦中の佳作。洋裁店を営む久子(高峰)は、無職の料理人の父・新六(河村)を養っている。そんな中、近所の角平(坂本)とおかつ(飯田)夫妻が、久子の縁談を世話することに。だが、久子は、夫婦の娘・富江(三浦)と同じく、歯科医の向井(上原)に気になって…。河村黎吉・坂本武・飯田蝶子らベテラン勢の熟練した演技が興味深い。
'43(松竹大船)◎大庭秀雄◎齋藤良輔、長瀬喜伴◎長岡博之◎小島基司◎朝比奈昇◎高峰三枝子、上原謙、三浦光子、河村黎吉、坂本武、飯田蝶子、水島亮太郎、岡村文子、葉山正雄、武田秀郎、山路義人

8 5/16(金)5:30pm 5/25(日)11:00am

お光の縁談(62分・35mm・白黒)
▶「よみがえる日本映画 vol. 7[松竹篇]」—映画保存のための特別事業費による。より
小津安二郎のいくつかの作品や、『狐』『暖流』『勝鬨音頭』など、多数の松竹作品で脚本を手掛けた池田忠雄が、中村登と共同で監督したメロドラマ。脚本は新藤兼人。お光(水戸)は、父(河村)と食堂を切り盛りしている。板前の友吉(佐野)とは、互いの気持ちを伝えあっていない。外地から引き揚げて来た姉(久慈)に、夫の新しい仕事のために金が必要だと相談され、彼女が決意したこととは…。
'46(松竹大船)◎池田忠雄、中村登◎新藤兼人◎生方敏夫◎演田辰雄◎萬城目正◎佐野周二、水戸光子、河村黎吉、坂本武、久慈行子、清水一郎、高山八百子、高倉彰、三村秀子、逢川かほる

9 5/17(土)11:00am 5/25(日)2:00pm

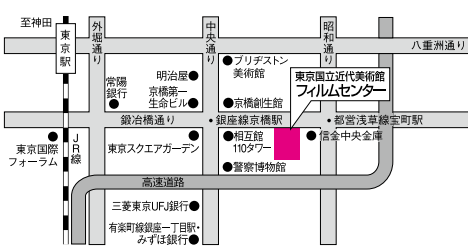
オレンジロード急行(86分・35mm・カラー)
▶「自選シリーズ 現代日本の映画監督2 大森一樹」より
自主映画作家だった大森一樹が、本作の脚本で城戸賞入賞を果たし、弱冠25歳にして監督まで任された記念すべき商業映画デビュー作。無許可の移動海賊放送局を続ける若者たちと自動車泥棒の老人カップルが警察の網の目をかいくぐり逃走するロードムービー。
'78(松竹)◎大森一樹◎大森一樹◎阪本善尚◎宮坂勝巳◎嵐寛寿郎、岡田嘉子、原田芳雄、森本レオ、中島ゆたか、小倉一郎、志麻哲也、高杉早苗、佐藤幾次郎

●《京橋映画小劇場》とは

平成18(2006)年度よりフィルムセンターは、それまで教育機関のための特別映写や一部の共催事業の会場として使用されてきた小ホールを、《京橋映画小劇場》(KYOBASHI-ZA)の名のもと、年に数回、フィルムセンターの主催上映企画にも利用し、さらなる上映活動の拡充を図っています。
フィルムセンター所蔵作品の公開を中心に、外部団体との共催企画も引き続き模索しつつ、多彩な上映企画の実現を目指します。大ホール・展示室企画ともども、皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

	金曜日	土曜日	日曜日
5月	0:30pm 1 花のれん (129分)	11:00am 3 大佛さまと子供たち (102分) 奈良には古き佛たち (36分)	11:00am 5 夜の終り (94分)
	5:00pm 2 家庭日記 (99分)	2:40pm 4 女優と詩人 (72分)	2:00pm 6 運が良けりゃ (92分)
	1:00pm 7 むすめ (77分)	11:00am 9 オレンジロード急行 (86分)	11:00am 2 家庭日記 (99分)
	5:30pm 8 お光の縁談 (62分)	3:00pm 1 花のれん (129分)	1:30pm 3 大佛さまと子供たち (102分) 奈良には古き佛たち (36分)
	1:00pm 4 女優と詩人 (72分)	11:00am 6 運が良けりゃ (92分)	11:00am 8 お光の縁談 (62分)
	5:00pm 5 夜の終り (94分)	2:00pm 7 むすめ (77分)	2:00pm 9 オレンジロード急行 (86分)

■作品によって開映時間が異なりますのでご注意ください。



フィルムセンター 〒104-0031東京都中央区京橋3-7-6
▼交通:
東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
都営地下鉄浅草線三軒町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分
東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分
JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

お問い合わせ: ハローダイヤル03-5777-8600
NFCホームページ:
<http://www.momat.go.jp/>
NFC携帯電話ホームページ:
<http://www.momat.go.jp/nfc/k/>